令和7年度　　No.2

学校図書館支援センターだより

発行日　令和7年8月25日

新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL （0897）65－1301

新居浜市「子どもの読書アンケート調査」結果の報告と考察

６月に市内の小学２年生と５年生の児童、中学２年生の生徒に実施しました。この調査は、愛媛県読書活動推進計画におけるアンケート調査に準じて行っています。そのため、県内の傾向と比較することができる継続調査です。

対象となりました学級の児童・生徒の皆さん・先生方、アンケートへのご協力、ありがとうございました。

１　不読率０％を目指します

～１か月間の読書冊数が０冊の子どもの割合～　（単位　％）

学年＼年度	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	達成目標
小学２年生	1.0	2.6	0.8	2.1	1.5	0
小学５年生	1.9	1.9	1.7	3.1	0.8	0
中学２年生	4.0	3.3	5.7	3.6	8.3	0

令和５年度愛媛県　小学校低学年 4.9%、上学年 2.4%、中学生 11.4%

小学２年生と５年生では、１６校中１３校、中学２年生では、１２校中７校が目標に達しています。０冊は、小学２年生で６人、５年生で３人、中学生は２５人となっています。

小学２年生は８名から６名、５年生は昨年度の１２名から３名と減っていますが、中学生の不読者が、１３名から２５名と増えています。全ての学年で県より少なくなっていますが、中学２年生がほぼ倍増していることが課題として挙げられます。

２　子どもの読書量を増やします

～１か月あたりの平均読書冊数の割合～　（単位　冊）

学年＼年度	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	達成目標
小学２年生	18.2	23.3	30.7	23.9	25.5	21
小学５年生	10.3	12.4	13.8	13.1	12.8	13
中学２年生	3.7	4.6	3.4	2.7	3.7	7

令和５年度愛媛県　小学校下学年 12.3冊、上学年 13.6冊、中学生 6.9冊

小学２年生は、昨年度より増加しており、４年連続達成目標に達しています。県よりも二倍多く読んでいます。５年生と中学生は、達成目標を下回っており、県と比較すると５年生はやや少なくなっています。

中学２年生は、昨年度と比べると平均１冊の増加となっていますが、県より大きく下回っていて、依然として本を読む時間と機会が減少していることが分かります。

３　学校図書館を利用する児童・生徒を増やします

～学校図書館を利用する（よく行く・たまに行くと回答した）児童・生徒の割合～　（単位　％）

学年＼年度	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	達成目標
小学２年生	52.9	60.0	92.5	94.3	76.1	90
小学５年生	51.4	45.3	62.7	69.6	76.4	80
中学２年生	22.0	23.5	20.0	17.8	27.1	45

令和５年度愛媛県　小学校低学年 88.7%、上学年 80.7%、中学生　35.7%

小学校では、担任と学校司書による図書館を活用した授業を行っているので、図書館をよく利用しています。また、週２日間は学校司書が配置されているので、図書館が常時開館し利用しやすくなっています。

中学校では、学校司書の配置がなく、教員がつかないと図書館が利用できないため、利用は少なくなっていますが昨年よりは増加しています。

4　学校図書館の開館状況

	小学校（１６校）		中学校（１２校）	
朝の一斉読書	している	していない	している	していない
	１４ (87.5%)	2	１１ (91.7%)	１
図書館の開館状況	常に開館	利用時のみ	常に開館	利用時のみ
	4	１２	0	１２

市内の小・中学校では、ほとんどの学校が「朝の一斉読書」を実施しています。登校して荷物を片付けてから、一定時刻まで静かに読書をするようにしている学校が多いようです。
　図書館を常に開館している学校は、４校のみで、大半が利用時のみの開館となっています。小学校では、学校司書が週２日勤務しているので、その間は常時開館しています。
　中学校で常に開館できないのは、学校司書の配置がなく教職員も常駐することができないのが大きな理由です。

令和５年度愛媛県「一斉読書」の実施状況　小学校 94.4%　中学校 89.6%

5　中学生に聞きました。どんな図書館にしたいですか？

記述が多い順（類似した意見をまとめています）

１　開館日を増やしてほしい。気軽に利用できる図書館。
２　いろいろなジャンルの本や新しい本がたくさんある図書館。
３　静かで読書に集中できる図書館。
４　人気の本やおすすめの本が複数冊置かれている図書館。
５　複数冊の本が借りられる図書館。

昨年度同様、開館日を増やしてほしいという意見が多くありました。「朝の一斉読書」をほとんどの中学校が実践している実態を考えると複数冊借りたいという意見も納得です。

こんな意見もあります

〇　安心できる場所（もう一つの自分の居場所）
〇　今月のおすすめの本などを紹介してほしい。
〇　どこにどんな本があるのかがわかりやすい図書館（新着本、分類表示など）
〇　個人の学習スペースがほしい。
〇　雨の日に開館（昼休み）してほしい。

6　学校図書館担当の先生の主なご意見

小学校

〇　図書館は、子どもたちが本に親しみ、創造力や語彙力を育てる大切な場所だと考えます。しかし、実際は運営を担う人手が不足していたり、活用の時間が限られていたりして、十分に機能していないとも感じています。その中で、市で配置してくださっている学校司書の存在が大変ありがたいです。
〇　授業支援や購入図書の選定など、丁寧に支援していただきありがたいです。委員会活動の日が来校日ではないので、書籍の修理の仕方や効果的な本の並べ方などを委員会児童が学べる時間を確保したいです。
〇　来校日数を週２回から増やしていただけると、子どもたちももっと本に親しむことができると思います。

中学校

〇　教員がつける時間が限られているため、開館時間や曜日に制約がある。また、受入れ等の処理がうまくいかないことも多く、負担に感じることがある。開館しても限られた生徒の来室になっている。多くの生徒が利用できる図書館になるようアドバイスをいただきたい。
〇　日ごろの業務に追われ、学校図書館の運営にまで手が回らず、昼休みの図書館運営も生徒に多くを任せているのが現状です。司書教諭を図書館に常駐し、本の購入や図書の整理を行えるようにしてほしいです。
〇　夏休みに、図書館支援センターの学校司書さんに来ていただき、図書館の整備等をしていただく予定です。廃棄図書の選定や図書のレイアウトなど、生徒が手に取りやすい環境を教えてほしいです。

※　今年度も８月に図書流通センター提供の中学生向け新刊の人気度の高い図書、学校司書推薦の図書をリストにして送付しました。選書の参考になれば幸いです。次回は、１月の予定です。